

第5章 歴史文化資源の保存・活用に関する基本理念

伊那市の未来をつくるためには、伊那市ならではの歴史文化を、私たち自身が知り、守り、上手に利用することが大切です。
これから様々な取組を進める上で、全ての元となる考え方が、この基本理念です。



雄大な山々に抱かれた自然豊かな伊那市には、先史時代から現代までの様々な歴史文化資源があり、長い歴史の中で独自かつ多様な文化を築いてきました。

少子高齢化などによる社会情勢の変化に伴い、「地域の良さ」、「地域らしさ」を見つめ直す機運が全国的に高まり、地域の誇りとなる歴史文化をはじめとした様々な地域資源に注目が集まっています。

平成28年(2016年)3月に伊那市が制定した伊那市民憲章の中にも「一、歴史と文化を大切にし、心豊かな人を育みます。」と謳われていますが、多くの歴史文化資源を有する伊那市は、その恵まれた環境を活かし、地域の宝である歴史文化資源に目を向け、その存在と価値を多くの人と共有することで、これまで以上に、地域に対する人々の愛着や誇りを高めていくことができます。

さらにこうした取組は、市民ばかりでなく市外に暮らす人々も含めて、行ってみたい、暮らしてみたい、暮らし続けたいと思える魅力的な伊那市をつくることにもつながります。

将来にわたり、持続可能で輝かしい伊那市の未来を築いていくため、伊那市の歴史文化資源の保存・活用の基本理念を次のとおりとします。

輝く未来を築くため、自然豊かな伊那市で育まれた歴史文化を 「知る」、「守る」、「活かす」

この基本理念のもと、誇りを持って魅力ある地域づくりを進めるため、過去から受け継いだ伊那市の歴史文化を「知る」ことに始まり、地域ぐるみで確実に「守り」将来へ受け継ぎながら、その価値や魅力を多くの人と共有するため、歴史文化資源を「活かす」取組をします。